

中部地方整備局 入札監視委員会 17年度第二部会第2回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成17年12月 5日(月) 名古屋通信会館	
委員	[部会長] 中舎寛樹(大学院教授) 喜岡 渉(大学院教授) 久世表士(弁護士)	
審議対象期間	平成17年 4月 1日~平成17年 9月30日	
抽出案件	総件数 5件	(備考)
工事	一般競争	1件 平成17年度名古屋港飛島ふ頭南岸壁(-16m)既設護岸撤去及び地盤改良工事
	公募型指名競争	1件 平成17年度清水港新興津泊地(-15m)浚渫工事
	通常指名競争	2件 平成17年度御前崎港防波堤(東)消波製作据付工事 平成17年度伊勢湾環境水槽修理
	随意契約	0件
建設コンサルタント業務等	1件	平成17年度四日市港道路橋梁詳細設計(その2)
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	抽出案件については、適切に処理されている。	

意見・質問	回答
<p>(工事 一般競争入札)</p> <p><b>平成17年度名古屋港飛島ふ頭南岸壁(-16m)既設護岸撤去及び地盤改良工事</b></p> <p>難易度はどのように決定しているか。</p> <p>J Vの組み合わせは毎回同じ者か。</p> <p>外国企業の応募があったことはあるか。</p> <p>保安対策を講じる岸壁の規模は。</p> <p>{ 審議結果 }</p> <p>・ 本件は適切に処理されている。</p>	<p>工事全体の内容に対して対外調整、水深等項目ごとに判断し工事施工上の難易度を決定している。</p> <p>特定建設工事共同企業体については、業者の組み合わせが工事ごとに構成されており、毎回同じということではない。</p> <p>当局においては、ない。</p> <p>国際航路に就航する船舶が年間12隻以上接岸する埠頭が対象となる。</p>

意見・質問	回答
<p>(工事 公募型指名競争入札)</p> <p><b>平成17年度清水港新興津泊地(-15m)浚渫工事</b></p> <p>総合評価方式において、標準案のみで競争に参加できるか。</p> <p>総合評価落札方式であり、入札価格が高くても加算点の関係で落札するケースはあるか。</p> <p>発注者の積算する船団構成は標準的な企業が調達出来る船団を基本としているのか。</p> <p>{ 審議結果 }</p> <p>・ 本件は適切に処理されている。</p>	<p>総合評価ガイドラインに従い標準案のみでも入札には参加可能としている。</p> <p>国土交通省全体で見れば標準案のみの提案では競争参加資格を認めない試行ケースもある。</p> <p>入札額が予定価格以内であれば、入札価格が高くても落札する可能性はある。</p> <p>発注者は積算基準に従い最も安くなる船団構成を選定している。基準は過去の実績をもとに標準的なものとして決定されているものです。</p>

意見・質問	回答
<p>(工事 指名競争入札)</p> <p><b>平成17年度御前崎港防波堤(東)消波製作据付工事</b></p> <p>ブロック据付と製作の個数が異なるのは予算の関係と言うことでしょうか。</p> <p>{ 審議結果 }</p> <p>・ 本件は適切に処理されている。</p>	<p>ブロック据付個数に対し、既設ブロックを別件で撤去しており、それを再利用することとしているので、不足分のみ製作している。</p>

意見・質問	回答
<p data-bbox="199 275 512 309">(工事 指名競争入札)</p> <p data-bbox="199 322 616 356"><b>平成17年度伊勢湾環境水槽修理</b></p> <p data-bbox="199 394 788 461">同種工事は建築工事とのことだが12社しかいないのか。</p> <p data-bbox="199 1592 363 1626">{ 審議結果 }</p> <ul data-bbox="236 1697 651 1731" style="list-style-type: none"><li>・ 本件は適切に処理されている。</li></ul>	<p data-bbox="826 394 1414 461">名古屋市内での施工で、国が発注した工事の実績を求めたところ12社となった。</p>

意見・質問	回答
<p>(建設コンサルタント業務等)</p> <p><b>平成17年度四日市港道路橋梁詳細設計(その2)</b></p> <p>同種工事について全国でも13社しかないのか。</p> <p>どのような規模の業者か。</p> <p>完成後の扱いは。</p> <p>応札額にばらつきがあるが、想定の範囲内なのか、公表されている積算基準等が定着していないためか。</p> <p>{ 審議結果 }</p> <p>・本件は適切に処理されている。</p>	<p>港湾の状況を熟知していることが必要のため、国土交通省の港湾地区の業務の実績を求めたことから13社となった。</p> <p>高度な技術が要求されるため、コンサルタント業者の中では規模の大きな業者が中心である。</p> <p>港湾管理者に管理委託する。</p> <p>コンサルタント業務は、人件費が中心になること、また諸経費率等の関係から応札業者間の入札金額にばらつきが出ていると思われる。</p>